

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

暑い夏の真ただ中 (悦)

今年の特別の暑さの中、新型コロナウイルス感染防止と熱中症防止をとりつつの観察会。どうなることかと心配でしたが、今日だけは少し涼しく、日陰の沢沿いの小径は、暑さも苦になりませんでした。森の木々による冷房効果は快適です。



今日のコースは、第一駐車場から沢沿い小径を水車小屋まで行き、山頂コースを駐車場まで戻ります。そして、密を避けて自転車で山頂へ。山頂周辺の日陰を捜しながら観察し、頂上広場で解散です。市民の森は、一般車の乗り入れ可能なのは山頂コースのみですので、ご注意ください。

初めての出会い (葉) 写真(黒)

ミンミンゼミの鳴き声が聞こえ、スミナガシの成虫・幼虫の両方に出会え、生き物の世代が移り季節が進んでいることを感じられる観察会でした。暑い中にも初秋の気配を感じる事ができよかったです。



頂上見晴台から富士山展望

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館  
茅野市北山 カフェ 午後の森

《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会  
☎: 0266- 75-1772

今日観察した花 (悦)

- 🌻ダイコンソウ 🌻ツネノボタン
- 🌻カタバミ 🌻キンミズヒキ 🌻オトギリソウ
- 🌻ミヤコグサ 🌻ゲンノショウコ
- 🌻ボタンヅル 🌻イケマ 🌻カラハナソウ
- 🌻ヒメジョオン 🌻オトコエシ 🌻ヌスビトハギ
- 🌻ヤマハギ 🌻キツネノカミソリ 🌻ネジバナ
- 🌻セイヨウウツボグサ 🌻コバギボウシ
- 🌻ツククサ 🌻サワギキョウ 🌻タマアジサイ



オトコエシ



コバギボウシ



タマアジサイ

今日観察した動物 (悦)

蝶:②109～118

- スミナガシ成虫、幼虫
- ルリタテハ幼虫
- イチモンジチョウ



黒

蛾:②119、120

- キンモンガ

トンボ:②127、128

- シオカラトンボ ●オニヤンマ

セミ:②129

- エゾゼミ、●ミンミンゼミ

その他

- ヨツスジハナカミキリ
- アカハナカミキリ
- ホソサビキコリ ●マメコガネ
- オオヘリカメムシ ●ナシカメムシ
- アブラムシ2種
- ヤブキリ

両性類

- アマガエル

カメムシ注意報！ (矢)

オオヘリカメムシ 3 齢幼虫



大型のヘリカメムシでアザミ類、クマイチゴ、モミジイチゴ、フキなどの植物に多く、極めて強い臭気をだす。と、カメムシ図鑑にあり、かつてモミジイチゴをばくついていた時、口に入ったカメムシじゃないかな～！キイチゴ類は焦らずじっくり見てから口にしましょう。臭いだけではありません、痺れます！！

この暑さとコロナでどうなることか心配しましたが、皆さんの熱～い探求心のお蔭さまで、スミナガシはじめ多くの虫たちに出会うことができ楽しい月例観察会となりました。

**ゲンノショウコ (そ)**



これを干して、煎じて飲むとすぐ効果が表れることから現の証拠があるとしてこの名がついた、というゲンノショウコ。

自家受粉を避けるために、雄性先熟、などという手のこんだ生存戦略を企てて生き延びているのですね。小さい可憐な花でもしたたかに生きている！雄蕊が先に熟している期間は多分短いのでは。花びらもまだ閉じ気味でした。

**ルリタテハ (そ) (黒) 写真(そ)**

●ルリタテハの幼虫にはビックリ！松葉のようなトゲをつけて！でも、ステキな蝶になるのですね。(そ)



●そしてルリタテハの幼虫。どうしてこんな姿でいなければいけないのか、考えてしまいます。何となく恐ろしげなのは、人間向け？ それとも天敵に対して？ あのきれいな瑠璃色の筋のある蝶とはとても思えない。(黒)

**イケマに群がる昆虫たち (悦)**

イケマは毒草と言われていますが、沢山の種類の昆虫が集まっています。アサギマダラの幼虫もイケマが食草です。昆虫にとっては害がないのでしょうか、きっと。



アカハナカミキリ ヨツシハナカミキリ ホソサビキコリかな

**サワギキョウ (悦)**

頂上で解散の後、南コースのサワギキョウを観察しました。誰も見ていなくても、今年も、ちゃんと咲いていました。



**スミナガシ (黒)**

今回のトップニュースは、スミナガシを見たことです。幼虫は何度見ているけれど、蝶は初めて。脱皮したところなのか、岩の上で羽を開いたり閉じたり。美しい姿にしばしうっとり。



**秋は近いのかな? (su)**

ツノハシバミの木に、実がぶらさがっていました。ツノの数、1本から3本までは確認したけれど、最多は何本あるのでしょうか。オニルリソウは、優しい花からは想像もできないトゲトゲ付きの実を作っていました。まだ若くて、痛くないくつつかないトゲトゲでした。

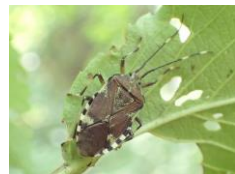


**スミナガシの成長記録 (2016年) (矢)**

今年度無理かと思われたスミナガシの幼虫を月例観察会古参メンバーが発見。見事な擬態を皆で観察できました。多くの固体を観察できた 2016 年の蛹化まで様子を紹介しますので、今後のご参考に！(同一個体ではありません)



卵 → 幼虫 → 蛹



ナシカメムシ (初観察)